



MEITETSU HOSPITAL



日本医療機能評価機構
認定番号 JCS109号

名鉄病院 news letter

人に寄りそう 命と向き合う

令和6年 初秋号

専門・認定・診療看護師のご紹介

撮影：写真クラブ 河野 礼子

9月中旬にこのNews Letterのペンを執っていますが、夏が終わったというのに、なお日中は35度前後と暑い日が続いています。最近の世界的な温暖化のためか、春や秋の期間が短くなり、夏から急に冬に移行する気がします。過ごしやすい秋に体を慣らして冬に備えることができず、急激に気温の変化が起こり、体調を壊す方も多いのでは、と心配いたします。どうか皆様、ご自愛くださいますようお願いいたします。

今年の夏も各地でのゲリラ豪雨に伴う洪水、8月8日に発生した日向灘の地震と、災害も頻発しています。南海トラフ地震の発生確率も高くなったと言われています。当院においても、24時間多くのスタッフや入院患者さんがおられ、まさかの事態に備え、食料や水の備蓄、簡易トイレや非常用電源の確認などを行い、また先日は夜間帯を想定した災害訓練を実施いたしました。災害は無いに越したことはありませんが、昨今の各地域での災害を見るにつれ他人ごとではなく、当院においても災害の備えをしっかりと行いたいと思います。「備えあれば憂いなし」です。どうか、皆様も各自防災対策をよろしく願います。



名鉄病院
病院長

葛谷 雅文





こんにちは! 名鉄病院 専門・認定・診療看護師です



私たちは「人との絆・地域の要」をキーワードに、地域で働く皆様と楽しく協働し、各専門分野に関連した患者さん・療養者さんのニーズを叶えられるよう日々活動しています。地域で働く皆様からの相談では、メールや電話での個別相談や訪問看護の同行、希望される施設にスタッフに向けての勉強会開催など行っています。

また名鉄病院 医療支援センターから発信している「きらり通信」で、医療関係者向けに各専門分野のセミナーを定期的に開催しています。

相談を希望される場合は、ご遠慮なく下記にお問い合わせ下さい。

- ・ 医療関係者：下記のFAXまたはメールでお願いいたします。
- ・ 恐れ入りますが患者さん、ご家族様からのご相談は、各科・各専門外来へお問い合わせ下さい。

実践例 認知症看護認定看護師 佐野 道真

入院する1ヶ月前からだんだんと食事摂取量が減っていき、動けなくなって入院した認知症のある患者さんへの介入。患者さんは元々、温厚だったそうですが、家族に対しても怒り家族もどうにかしたいと悩まれ、また食べられなければ胃瘻も作ろうと考えていました。どうにか食べてもらえるよう原因を考え支援しました。認知症になると物の使い方がわからなく場合があるため、飲み物を缶のまま渡しても飲めなかったのを見て、コップに移して渡すと飲めるようになりました。また、認知症は進行すると言語的に上手く伝えられないことが生じます。怒りっぽいのは入院中も変わらず続いていたため、横になっている時と座っている時の表情が違うことに着目し、動いた時に「痛い」と訴えられ、表情が険しくなることから腰痛が原因で食べられないと考えました。定期的に痛み止めを内服するようになり、穏やかに過ごせるようになりました。

入院時、食事摂取量は1~2割でしたが、持参のお菓子を食べているため、栄養士と相談して嗜好に合わせた食事を提供しました。痛みが取れて穏やかになった患者さんは、嗜好に合った食事にもなり全量摂取できるようになりました。退院前に話し合いの場を設けて、必要な社会資源を導入して希望通り自宅に帰ることができました。今後も認知症の方の気持ちに寄り添い、苦痛を見つけて支援して安心できる入院環境を提供していきます。

研修会開催 感染管理認定看護師 齋場 三季

新型コロナウイルスのパンデミックを経験し、日常生活と感染症対策は切ってもきれないものとなりました。自分自身や家族、患者さんの命を守るために、感染症対策への関心は高まっています。感染症の知識や正しい対策について、地域の診療所や施設等からの要望を受けて研修に伺っています。

高橋 須磨子 看護部長

当院では、各専門分野のスキルの高い看護師が活躍しています。地域の皆様のお役にも立ちたいとの思いで今回のニュースレターの作成に至りました。お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせは、題名「看護専門領域の相談」とし、ご希望される分野とその内容を記して、FAXまたはMailにて送付ください。

FAX 052-586-5576

Mail mh-resource@meitetsu-hpt.jp



専門・認定・診療看護師メンバーの紹介をします



救急看護認定看護師 鈴木 典子

救急や重症患者さん、家族の方の看護をしています。救命処置の指導や高齢者の方をはじめとする発熱対応で苦痛が最小限となるよう援助します。



診療看護師 (NP) 布目 雅博

麻酔科の医師と共に麻酔管理の補助をしています。また、二の腕から長期間留置可能な点滴カテーテルの挿入もしています。



感染管理認定看護師 齋場 三季

感染症を予防したり、拡げたりしないように、手指衛生や個人防護具の正しい使用、チューブ類の管理をしています。



がん看護専門看護師 二村 舞子 がん性疼痛看護認定看護師 伊藤 恵子 がん化学療法看護認定看護師 澤野 麻子

がんの診断時から治療～療養～終末期まで、身体に起こる様々な症状の緩和と心のケアを行っています。がんと共存しながら、その人らしい生活が送れるように、在宅医療チームと連携し患者さんご家族を支援致します。



摂食・嚥下障害看護認定看護師 高倉 千ほみ 小野 裕輝

私たちは、食事摂取ができるかの評価、口腔ケアや食事摂取の方法、食事の内容、安全に食べたり飲み込んだりするのためのリハビリテーションの方法などを適切に判断し低栄養や脱水を予防しながら、楽しく安全に食事摂取ができるように、ご本人さんとまわりのご家族や援助の方々を支援いたします。



皮膚・排泄ケア認定看護師 市川 美代子 森 淳一

私たちは、手術で人工肛門をつくられた方が日常に戻れるように支援します。また、寝たきりの方に発生した褥瘡(床ずれ)や他の創傷が早く治るように考える専門職です。排泄ケアでは、尿や便などの排泄に関する悩みに対応し支援しています。いつまでも元気で歩行出来るように爪や足のケアも行っています。



認知症看護認定看護師 佐野 道真

認知症があっても安心して医療を受けられるように支援します。認知症の状態やこれまでの生活などに合わせてひとりひとり環境を整えます。怒りっぽい、歩き回ってしまう、夜に起きてしまう、ご飯を食べてくれないなど症状に合わせてケアの提供や専門医とともに薬剤調整なども対応します。





便通改善! 豚肉と秋の根菜甘酢炒め

秋から冬にかけて旬を迎える根菜類と豚肉を使ったレシピです。今回使用する根菜類は食物繊維を豊富に含んでおり、整腸作用やコレステロールの排泄作用など、生活習慣病の予防に役立ちます。また、さつまいもには「ヤラピン」という成分が含まれており、これには腸の蠕動運動を促し、便を柔らかくする効果があります。これらの栄養成分を残らず摂取するために、皮ごと食べるのがお勧めです。食物繊維とヤラピンの相乗効果により、腸から健康を保ちましょう!



【材料2人分】

- 豚こま肉 180g
- さつまいも 150g
- れんこん 100g
- ごぼう 50g
- さやいんげん 5本
- めんつゆ 大さじ1
- 【A】 ● 酒 大さじ1/2
- チューブしょうが 2~3cm
- 片栗粉 大さじ4
- サラダ油 適量
- めんつゆ 大さじ2
- 【B】 ● 酢 大さじ1と1/2
- 砂糖 小さじ2
- いり白ごま 適量

【作り方】

- ① さやいんげんは筋とヘタを取り2~3等分する。
ボウルに豚肉、【A】を入れてよく揉み込み10分ほどおく。
- ② さつまいもは乱切り、れんこんはいちょう切り、ごぼうは斜め切りにし水に5~10分さらす。
- ③ 耐熱ボウルにさつまいもを入れて電子レンジ(600W)で2分ほど加熱する。
- ④ 豚肉は食べやすい大きさにまとめて片栗粉大さじ2をまぶす。
れんこん、ごぼうはペーパータオルで水気を拭き取り、ポリ袋に片栗粉大さじ2とともに入れ、上下にふり全体にまぶす。
- ⑤ フライパンにサラダ油を中火で熱し、④を並べて入れ両目カリッと焼き色がつくまで焼く。
- ⑥ 火が通ったら、③とさやいんげんを加えて全体に炒め合わせ【B】を加えて全体に絡める。
- ⑦ 器に盛り、ごまをふる。



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生2-26-11
URL <https://www.meitetsu-hospital.jp/>
TEL 0570-023100 (ナビダイヤル)



経営主体

名古屋鉄道健康保険組合

病床数

HCU	12床
一般病床	321床(7:1看護)
地域包括ケア病床	40床
合計	373床

診療科目

- 内科
- 脳神経内科
- 小児科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 血管外科
- 循環器内科
- 血液内科
- 小児漢方内科
- 女性泌尿器科
- 麻酔科
- 腎臓内科
- 内分泌・代謝内科
- 外科
- 脳神経外科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 消化器内科
- 透析内科
- 消化器外科
- 婦人科
- 眼科
- 病理診断科
- 呼吸器内科
- 老年内科
- 整形外科
- 皮膚科
- 形成外科
- リウマチ科

診療センター

- 内視鏡センター
- 関節鏡・スポーツ整形外科センター
- 健診センター
- 認知症疾患医療センター
- ウロギネセンター
- 透析センター
- 糖尿病センター
- 予防接種センター
- 睡眠障害センター

専門外来 ※予約制(一部を除く)

- 禁煙外来
- ASO外来
- シルバークリニック
- 糖尿病透析予防外来
- 小児慢性疾患外来
- 関節鏡外来
- 小児整形外来(月1回・不定期)
- リウマチ膠原病内科
- ペースメーカー外来
- インスリン導入外来
- ファットケア外来
- 乳腺外来
- スポーツ外来
- 女性泌尿器科外来 ほか
- スポーツ内科(他院から紹介のみ)
- 肝臓外来
- 糖尿病眼合併症外来
- 乳児健診
- ストーマ外来
- 音声外来



1号館前の名鉄病院駐車場について
平日7時~17時の利用で、来院の方は割引サービスが可能です。
1号館1階Aブロックか2階総合受付に、駐車券を事前に提示して割引
認証を受けてください。
(名鉄病院北Pは割引認証しなくても、割引サービス後の料金です。)
また、病診連携専用の駐車場も用意しておりますので、詳しくは地域医療
連携室までお問合せください。

病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部総務課 TEL. 052-551-6299 FAX. 052-551-6711